



『親子で感動する秋に・・・』

校長 田代 雅規

10月になりました。暦の上では秋になりましたが、東京では、台風の影響もあり暑い日が続いています。本来秋は、稲の収穫をはじめ、農作物の実りの季節であり、食欲、スポーツ、芸術、そして読書にも最適な季節です。緑野中の生徒たちには美味しいものを食べ、スポーツに汗を流し、芸術や素晴らしい書物に出会い、感動する体験をして欲しいと思います。

一般的に人は、歳とともに感動することが失われていく動物であると言われています。その意味では、小さい子どもは毎日が感動の連続であり、見るからに生き生きと活動しているといえます。人は、年齢を重ねるに従って、感動する心が徐々に薄れていくものようです。

「感動」とはどのような意味があるのでしょうか。広辞苑で調べてみると「深くものごとを感じて心を動かすこと」とあります。つまり、素晴らしい物事に触れて、心を強く揺さぶられるような感じがすることを言うようです。スポーツでも、読書でも、映画や音楽でも、経験したときに大声で叫びたくなったり、時には鳥肌が立ったりするような気分を感動というのではないのでしょうか。そして、人は感動することにより、最高の気分、幸福感に浸ることができ、そしてこの思いはその後の思い出として残り、いつまでも心の中に生き続けていくそうです。このことから、人生を豊かに送るためには、如何に感動を味わえる生き方をしていくかが大切だということです。

アメリカの海洋生物学者のレイチェル・カーソンさんは、「物事に深く感動するには、やわらかな心が子どもたちに育っているかにかかっている。そして、やわらかな心の育成は幼児期から始まっており、私たちが住んでいる世界の喜び、感激、神秘などを発見していくためには、子どもと一緒に感動を分かち合ってくれる大人が、少なくとも一人そばにいる必要がある」と言っています。確かに大人に比べて子どもたちは、多くのことに感動します。でも、そばに大人がいて、一緒に感動してくれることで、子どもにとってその感動は、何倍にもなり、一生心の中に残るのではないのでしょうか。子どものスポーツの試合を観戦する、子どもと一緒に映画や音楽を鑑賞する、同じ本を読み、読んだ内容について親子で一緒に語り合う。

こんな経験が、子どもにとって素晴らしい感動体験として、心の中にいつまでも残るではないのでしょうか。緑野中の生徒には、親子で一緒に素晴らしい秋を過ごして欲しいと思います。



3年内容4-(3)「公正・公平」 2年内容2-(2)「思いやり」 1年内容1-(3)「自律・責任」



講師 齋藤 直子先生
宇都宮海星高校校長
元全国中学校道徳教育
研究会会長

今年度も意見公開会では、宇都宮海星高校校長の齋藤直子先生から本日の緑野中学校の道徳授業のことについて御指導いただきました。また子育てやこれからの学校が果たすべき役割や保護者と学校のかかわり方等について、いろいろなお話をいただきました。

道徳の力をつけることが、国語力の向上につながり、大学入試の国語の問題は、道徳的に判断すれば正解が導き出せるという話でした。緑野中学校では、小中連携協議会で小学校の先生方と一緒に道徳の研究をしています。次回は、12月21日(水)に緑野中学校で、道徳の研究授業を行います。緑野中学校では、全教員で道徳の指導力の向上に取り組んでいます。

学校公開のアンケート <7月の学校公開と9月の学校公開より>

- 社会の授業が本当に面白いです。でも自分の子どもを見ているとひたすらノートを取る事に忙しく先生の話あまり聞いていないように見えたので、あとで質問したら答えは分かっているようでした。しかし、テストの点数には結び付かず、本当に申し訳ないことです。他に見学に来ていたお父さんからも「授業がおもしろい！すごく楽しい！」と3時間とも夢中になって一緒に授業を受けていました。国語も二人の先生の授業を見学させていただきましたが、中学校の国語というともっと難しい進め方をするのかと思っていたら、とても親切に教えてもらっていました。子どもたちも楽しそうでしたが、何人かで同時に意見を言ったり、答えをいったりするので、先生が少し大変そうでした。元気のよいクラスでしたがやはり、少し落ち着かなくなってきたのかと思いました。理科は、先生の元気な声にのせられて、子どもたちもテンポ良く、たくさん手を挙げて答えているのを見るのはとても楽しかったです。
- どの授業も聞かないのはもったいないととても強く思いました。子どもたちにもあたり前の授業ではないのだと言いつけたいと思いました。
- 社会は、見に来ないでと子どもに言われたのですが、夏前の中間テストの取組や結果を見てみると我が家は塾にも通わせていないし、自分で勉強するには手強いだろうと今日は私も社会の先生の授業を受けながら、思い出し、思い出し、メモをとり、週末にクイズでも出しながら子どもと一緒に復習してみようと思ひ、一番前の我が子の後姿を苦笑して見守っていました。家では、歴史の授業でのこぼれ話をよくしてくれています。いつも楽しい授業をありがとうございます。
- 3時間目の道徳の授業を参観させていただきました。どの生徒も皆、授業に集中して取り組んでいて先生の質問にもよく反応していて、素晴らしいと思いました。校舎内もとても綺麗で、掲示物の乱れもなく、生徒たちが日々落ち着いて学習に取り組んでいる様子が伺えました。